

Historia Polski

ポーランド点描新聞
『人空羽衣遠』⑤
ポーランドの歴史

特集：ポーランドの歴史



ポーランド有翼重騎兵（フサリア）

■建国

4世紀のゲルマン民族の大移動以後、現在の地にスラブ人が定住し、8世紀にはピャスト王朝が国を統一します。そして966年のキリスト教改宗によって西欧キリスト教世界に国家として認知されました。

■黄金時代

13世紀には東から押し寄せたモンゴル軍によって国土が荒らされましたが、14世紀から始まったヤギェウォ王朝時代には欧州の大国として繁栄します。ポーランド・リトアニア連合王国誕生後の1410年、タンネンベルク（ドイツ名：グルンヴァルト）の戦いでドイツ騎士団を破り、16世紀にはポーランドはバルト海から黒海に至る広大な地域を領土としました。

■亡国の悲運

しかし16世紀後半から選挙王制に移行すると、地方の貴族が勢力を持つようになり、徐々に国力が低下していきます。そして18世紀後半には、隣接していたロシア、プロシア、オーストリアの三国に分割され、1795年にポーランドは消滅、第一次世界大戦が終わる1918年までの123年間、ポーランドは世界地図から消されてしまったのです。



三国によるポーランド分割

■激動の時代

第一次世界大戦後、ポーランドは独立を回復するものの、20年後には第二次世界大戦が始まり、再びナチス・ドイツとソ連によって分割占領されます。終戦後、ポーランドは国境を西に200km移動して再度独立を果たしましたが、ソ連の衛星国として東側陣営に組み込まれ、東西冷戦に巻き込まれてしまいました。



■東欧革命

ソ連の影響下で望まぬ社会主義体制を押しつけられた人々は自由を求めて粘り強く闘います。やがてグダニスク造船所の電気技師であったレフ・ワレサをリーダーとする自主管理組織「連帯」の活動によって1989年に平和裏に体制転換が実現、ポーランドの民主化が実現します。翌年には東西ドイツが統一、翌々年にはソ連邦が崩壊しました。



ワレサ「連帯」議長

■NATO・EUへの加盟

「欧州への回帰」を目指していたポーランドは、1999年NATOに加盟、2004年にはEUに加盟し、短期間で欧州への復帰を果たしました。ポーランドは、EU理事会における議決権345票のうち、独・英・仏・伊の29票に次ぐ27票をスペインと共に与えられ、EUの中でも存在感を示しています

■ポーランド経済と日本企業の進出

現在、日系企業はトヨタ、いすゞ、ブリヂストン、パナソニック等、自動車や家電関連の製造業を中心に、約200社がポーランドに進出しており、ポーランド人の誠実な働き振りは高く評価されています。

（■参考：外務省ホームページ）

ポーランドと日本の歴史対照表

| 年代 | 世界の主なできごと | ポーランド | 日本 |
|------|---------------|-------------------|------------|
| 8世紀 | 中国(唐)の繁栄 | グニエズノに統一王国 | 奈良～平安時代 |
| 11世紀 | 十字軍の遠征 | クラコフ遷都 | 平安時代 |
| 13世紀 | モンゴル軍の欧州侵略 | モンゴル軍の侵入 | 鎌倉時代 元寇 |
| 14世紀 | 黒死病の流行 | 再統一、経済発展 | 室町時代 |
| 15世紀 | ジャンヌ・ダルクの活躍 | ドイツ騎士団を支配下に置く | 応仁の乱 戦国時代 |
| 16世紀 | 大航海時代 | 欧州最強国、ワルシャワ遷都 | 安土桃山時代 |
| 17世紀 | ガリレオの地動説裁判 | トルコ軍からウィーンを防衛 | 江戸時代 |
| 18世紀 | アメリカ独立 フランス革命 | ポーランド分割(国の消滅) | 江戸時代 |
| 19世紀 | 列強の植民地支配 | (シヨパン、キュリー夫人等の活躍) | 明治維新 日清戦争 |
| 20世紀 | 第一次世界大戦、ロシア革命 | 独立回復(1918) | 日露戦争、第一次大戦 |
| | 第二次世界大戦 | ドイツ・ソ連による侵略(1939) | 太平洋戦争 |
| | 独ソ戦 | ワルシャワ蜂起(1943) | 学徒動員 |
| | 第二次世界大戦終結 | ポーランド共和国再建 | ポツダム宣言受諾 |
| | 冷戦 ワルシャワ条約機構 | 社会主義体制に組み込まれる | 日米安全保障条約 |
| | 冷戦終結 | 「連帯」活動 東欧革命 | 昭和天皇崩御 |
| | テロとの戦い アラブの春 | 自由主義経済 EU加盟 | 東日本大震災 |